

配付用資料

発表内容より

# 「語り場 2018夏」

平成30年度高英研第12回セミナー  
『授業力向上ワークショップ』

1

平成30年8月10日（金）

北海道札幌北高等学校

教諭 加藤 渉

mr.foggy-k.316@hokkaido-c.ed.jp

# Today's Workshop

## 1) 授業実践紹介

--日々の授業からいくつか

## 2) 話題提供と情報交換

--自由なカタリバ



## 実践紹介①

短時間のwarm-upで授  
業内容につなげる



# Warm-up Discussion

コ英 I の例

Look at the photos on p.61.  
What do you think the three  
photos **have in common?**



Miyake Isseyのデザインの  
コンセプトを読みとるパー  
トの導入



# Warm-up Speech (1-min)

表現Ⅰの例

When **will** the school festival **be held**? And what events do you have?

「受動態」×「学校祭」

01:00



# Warm-upのコンセプト

- ◆ Outputがゴールとは限らない。内容理解のプロセスの一部として散りばめる。
- ◆ 特にwarm-upによってはじめに発話障壁を取り除いておく。あくまで meaning first, and fluency first.
- ◆ 英語表現では、表現の機能と活用場面を意識させたり、身近な話題と関連させる（personalization）ことが目的。



## 実践紹介②

少しの工夫とICTで授業  
のテンポをつくり、進  
度（スピード）も確保する



# Grammar & Expressions

コ英 I の例  
文法・構文確認

⑧ No essential difference can be found between clothes in the East and ⑨ those in the West. \*between A and B

⑧和訳せよ（否定語主語構文）

⑨具体的に 1 語で

訳しにくいものこそ和訳を。生徒には授業中のメモを含め、それをもとに復習時に再度整理してノートを作ってもらいたい。





# Grammar & Expressions

□英 I の例  
□頭英作文

**TRY:** 沖縄の気候は北海道の気候より暖かい。

communicativeとは言えないものの、即興性のある□頭英作文は、文法・構文学習には非常に良いトレーニング。文字情報を出さずに、お題も□頭で済ませることが多い。

The climate in Okinawa is warmer than that of Hokkaido.



# Practice 1

表現 I の例  
名詞構文の練習

His pride did not **allow** him **to**  
ask anyone for help.

**=Because of his pride, ....**

□頭ドリルで理解の確認



→he couldn't ask anyone for  
help.



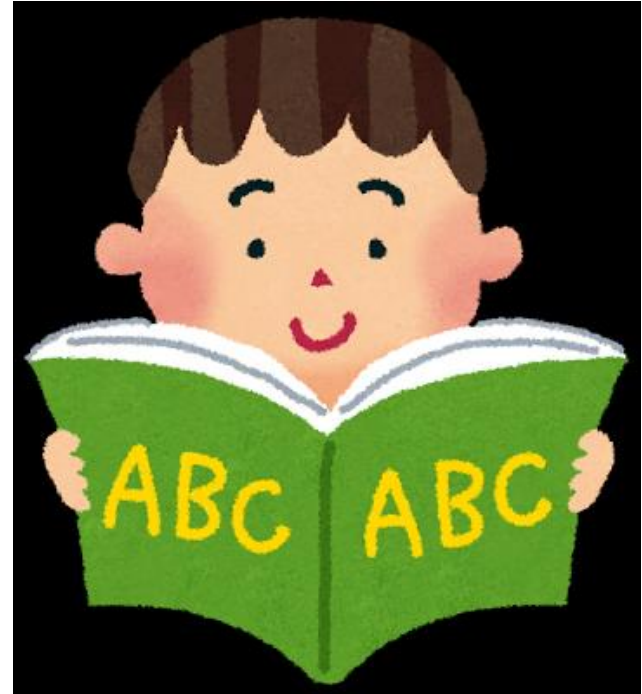
# Practice 3

表現 I の例  
名詞構文の練習

Children are quick learners.

=Children ....

□頭ドリルで理解の確認



→learn quickly.



# Practice 2

表現 I の例  
It-that強調構文の練習

She used my computer.

下線部を強調せよ

□頭ドリルで理解の確認

→ It was my computer  
that (which) she used.



# Practice 4

表現 I の例  
It-that強調構文の練習

I bought my sneakers at this  
store.

下線部を強調せよ

□頭ドリルで理解の確認



# Describe It!

表現 I の例  
関係代名詞の練習



描写活動は表現力を高める



# Describe It!

表現 I の例  
関係代名詞の練習



描写活動は表現力を高める



# Teachingのコンセプト

- ◆ 教師の「教え過ぎ・板書し過ぎ」で生徒の活動時間を奪わない。
- ◆ 生徒がワークシートによって目線が下がったり、ぱなしにならないよう工夫が必要。
- ◆ 「写すだけ・穴埋めするだけ」では、自分のノートを作る能力が育たない。
- ◆ 即興的にアウトプット・やりとりをさせたり、スライド情報と板書を組み合わせるなどして、情報を統合・整理するよう促す。





## 実践紹介③

自分の言葉でつなぐ  
Retellingを目標に



- ① “A Piece of Cloth” とはどのような考え方か
- ② 西洋のファッション界では彼のデザインはどう映ったか
- ③ 三宅一生のコンセプトがもたらしたものは



# RetellingなどIntake Taskのコンセプト

- ◆生徒に求めるレベルを段階的にアップさせていく。
- ◆最初は穴埋め、次にキーワードをつなぐ、また特にストーリーリテリングであればイラストも有効
- ◆先ほどの例では、生徒は、頭にあるデータベースから適切に引き出し、自分の言葉も使ってつなぎながら表現しなければいけない。より実践的なアウトプットを目指している。



## 実践紹介④

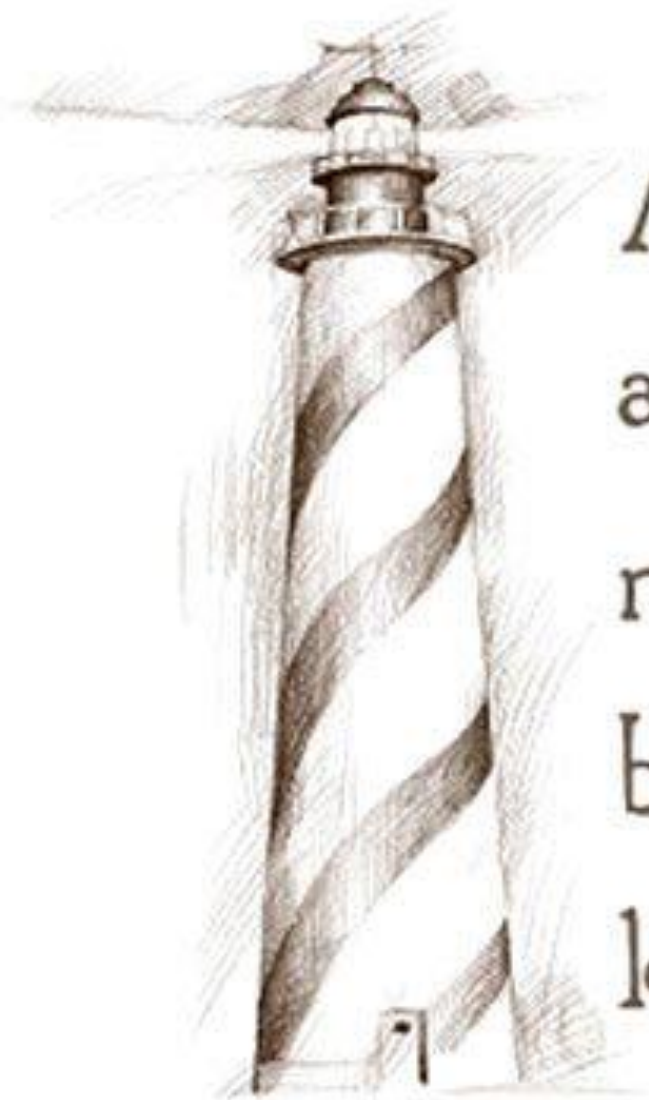
たまには  
**Authentic**なものを





オバマのスピーチ（広島）の読解と文字情報なしで視聴





A father is neither an anchor to hold us back, nor a sail to take us there, but a guiding light whose love shows us the way.

neither A nor Bの活用例として和訳



## 素材選びのコンセプト

- ◆ **授業のねらい**に沿うものを選ぶ。
- ◆ **authentic**な素材は生徒をひきつけ、**reason to read**を与える。
- ◆ **教科書英語、教科書音声とのギャップ**に慣れていくことが必要。ただし、レベル設定を間違えるとモチベーションを下げかねないので要注意・要編集。
- ◆ 構文和訳は、**メッセージ性ある文章**を使うと意欲的に取り組み、印象にも残りやすい。



## 実践紹介⑤

**短時間**でできる様々なspeaking活動





# Topic 3 Some people say it's better for college students to live with family.

It is true SV～.が出  
てきたタイミングで



01:00

It is true that S'V',  
but SV～.



# LET'S TRY

A: It is (                    ) for us to....

B: What do you mean?

A: \_\_\_\_\_.

It-to構文の練習として、  
interactionに発展

Hints:

important / necessary / natural / impossible  
/ possible / easy / difficult /



# A teacher and a student

表現 I の例

What's the matter with you?



「忠告する」というコンテキストでの練習

01:00

I think you should... / Why don't you...? / I suggest you...



# If it were not for smartphones,

表現 I の例



01:00

仮定法の練習として

I (We) would/could/might . . . / I agree with you. / You're right. / How about you? / In my case, . . .



## 自己表現タスクのコンセプト

- ◆ **短時間×即興**を繰り返す
- ◆ **4技能統合**とスピーキングの2領域、**Production**と**Interaction**を意識する。
- ◆ **たまに時間を要するタスク**を与える。  
(presentation / prepared speech / essay writingなど)
- ◆ **スピーキング**テストやプレゼン大会など、**バリエーション型タスク**も**思考力・判断力・表現力**を向上させる絶好の機会となる。



# Today's Workshop

## 1) 授業実践紹介

--日々の授業からいくつか

## 2) 話題提供と情報交換

--自由なカタリバ



## 話題提供① 本校全体としての取組み

【外部試験の取り扱い】について  
今年度1学年より早期対策として、**英検2級**  
(10月準会場) および**GTEC Advanced** (12月検定  
日) を全員受験 (模試扱い) としている。

- 進路指導部の模試計画に位置付け、**学校全体の取組**としてスタート
- 本校can-doリストにて、**1学年到達目標の外部指標として英検2級**を明記
- 受験料は**初納金**として徴収済み
- 英検2級取得者は準1級受験を推奨(差額分を徴収)
- 2～3学年については任意受験



# 情報交換

## 話題①

# 新テスト・外部試験への 対応





## 話題提供② 4技能評価を念頭に

### 【定期考査（筆記）】について

#### コ英 I

- ①Listening ②教科書本文より知識・理解問題
- ③Reading & Writing(読解と意見を述べる問題)

#### 表現 I

- ①文法の知識・理解問題
- ②Writing(文法を活用して自分の意見を述べる問題)

### 【スピーキングテスト】について

「音読＋Q&A型」を6月に実施。このあと「意見型」や「スピーチ・プレゼン」等を段階的に実施予定。



情報交換

話題②

# 4 技能授業と評価



## 話題提供③ 北高での気づきや課題意識

- 絶対的な時間不足(工夫をした上で...) 他教科とのバランスや、生徒のオーバーワークも考慮すべき。
- 進学校の生徒だから自分でできるわけではない。上位も下位も手をかけるのはどこも同じ。モチベーションと勉強方法が全て。生徒は方法がわからない。北高の3年間でIndependent learnerが育つ。
- 教員の指導が全て同じである必要はない。色の違いは多様性の一つ。お互いの色を尊重し、生徒にとってのメリットにつなげるスタンスこそ重要。生徒の個性同様、指導者の個性・強みが適切に発揮されるべき。



# 情報交換

## 話題③

現在感じていること  
(何でもOK)

